

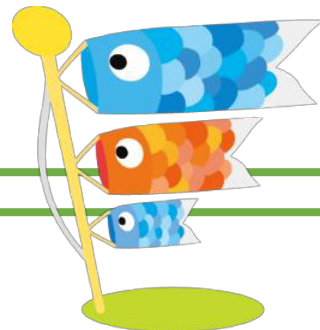
たんご せっく きゅうしょく 「端午の節句」給食

がついつか ひ たんご せっく よ ばしよ そら およ
5月5日の「こどもの日」は、「端午の節句」とも呼ばれます。さまざまな場所で、こいのぼりが空を泳いでいる姿を見かけます。青空を元気に泳ぐこいのぼりは、とても素敵ですね！みなさんのおうちでも、こいのぼりや兜を飾ったり、柏餅を食べたりしてお祝いするところもあるのではないのでしょうか。食べ物に込められている意味を感じながら、今日の給食を食べてもらえると嬉しいです。



Q：なぜ「端午の節句」にお祝いをするようになったのでしょうか？

A：昔から、日本や中国では、5月は不吉なことが起こりやすい月と言われていて、そこから邪気を払う行事が行われるようになりました。



Q：なぜ、兜を飾ったり、こいのぼりを飾ったりするのでしょうか？

A：◎「兜」 → 男の子の成長をお祝いします。

◎「こいのぼり」

→ 「こい」という魚は、滝を上る強い魚といわれています。「こい」のように、強い子どもになってほしいという願いが込められています。



Q：「端午の節句」にちなんだ食べ物は？

A：◎「柏餅」 → 柏の葉は、新しい芽が出ないとなかなか落ちないことから、「後継ぎが絶えない」という縁起物の意味があります。

◎「かつお」 → 「勝つ男」の語呂合わせから、「よい運気を運んでくれるように」という願いが込められています。

◎「ちまき」 → 関西地方を中心に食べる風習があります。「立派な大人になってほしい」という願いが込められています。

